

平成27年12月24日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

報告事項

番号	件名	主管課
1	平成28年3月新規高等学校等卒業予定者の就職内定状況等について	高校教育課
2	平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について	学校安全体育課

報告事項 1

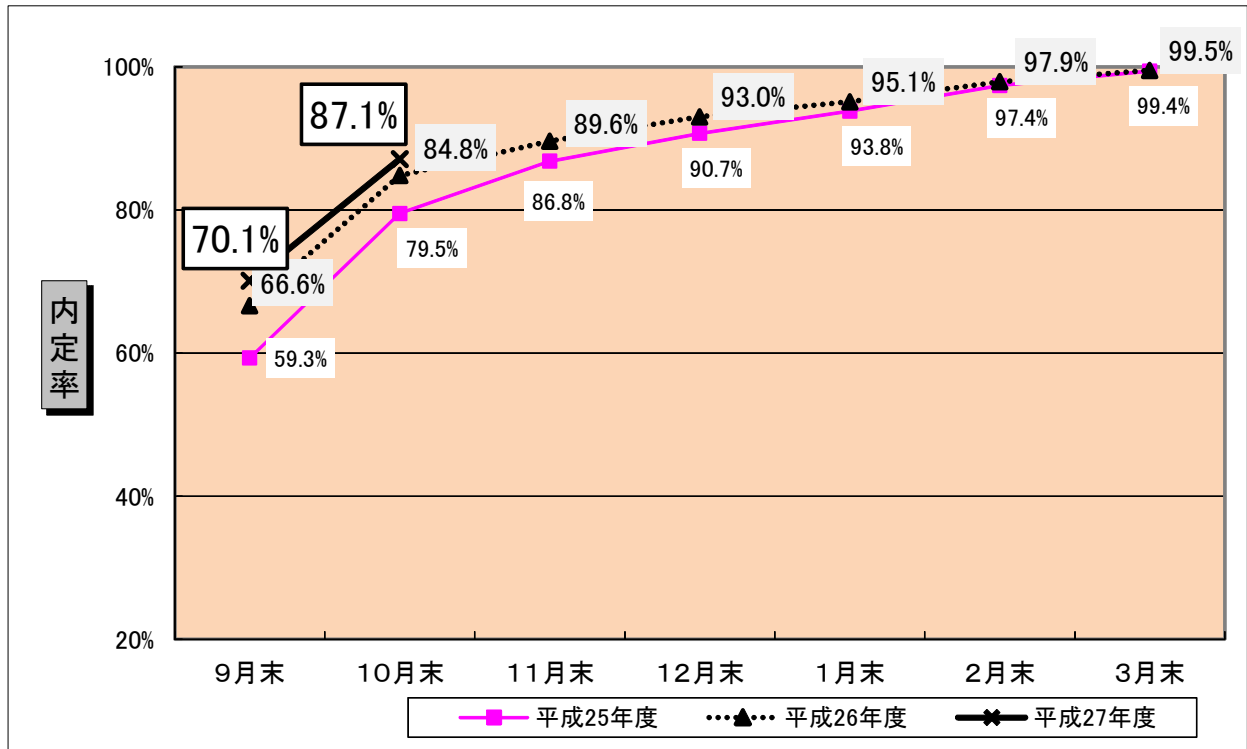
平成28年3月新規高等学校等卒業予定者の就職内定状況等について

1 平成28年3月新規高等学校等卒業予定者の求人・求職・就職内定状況 高校教育課

平成27年10月末日現在 (山口労働局調べ)

項目 \ 性別		合計	男子	女子	前年同期比
A	県内安定 所受理数	(4,234) 4,767			12.6%
B	県内就職 希望者数	(2,602) 2,586	(1,487) 1,510	(1,115) 1,076	-0.6%
	県外就職 希望者数	(556) 631	(421) 496	(135) 135	13.5%
	合計	(3,158) 3,217	(1,908) 2,006	(1,250) 1,211	1.9%
C=A/B 求人倍率 (倍)		(1.34) 1.48			0.14ポイント
D	県内就職 者数	(2,153) 2,208	(1,285) 1,329	(868) 879	2.6%
	県外就職 者数	(526) 593	(404) 478	(122) 115	12.7%
	合計	(2,679) 2,801	(1,689) 1,807	(990) 994	4.6%
E = D/B 就職 内定率 (%)	県内 就職	(82.7) 85.4	(86.4) 88.0	(77.8) 81.7	2.7ポイント
	県外 就職	(94.6) 94.0	(96.0) 96.4	(90.4) 85.2	-0.6ポイント
	合計	(84.8) 87.1	(88.5) 90.1	(79.2) 82.1	2.3ポイント
F 県内・県外 就職内定 比率 (%)	県内 就職	(80.4) 78.8	(76.1) 73.5	(87.7) 88.4	-1.6ポイント
	県外 就職	(19.6) 21.2	(23.9) 26.5	(12.3) 11.6	1.6ポイント
<p>(注) 1. () 内は昨年同期の数値である。</p> <p>2. A欄：求人数は、山口県内の公共職業安定所で受理した求人数である。</p> <p>3. B欄：求職者数は、学校又は公共職業安定所の紹介を希望する者の数である。</p> <p>4. C欄：求人倍率は、Aの求人数/Bの求職者数(合計)である。</p> <p>5. F欄：県内・県外就職比率は、平成27年10月末日現在における就職内定者の合計2,801人に対する県内・県外就職内定者(2,208人、593人)の比率である。</p>					

2 就職内定率の月別推移 [平成25年度～平成27年度]

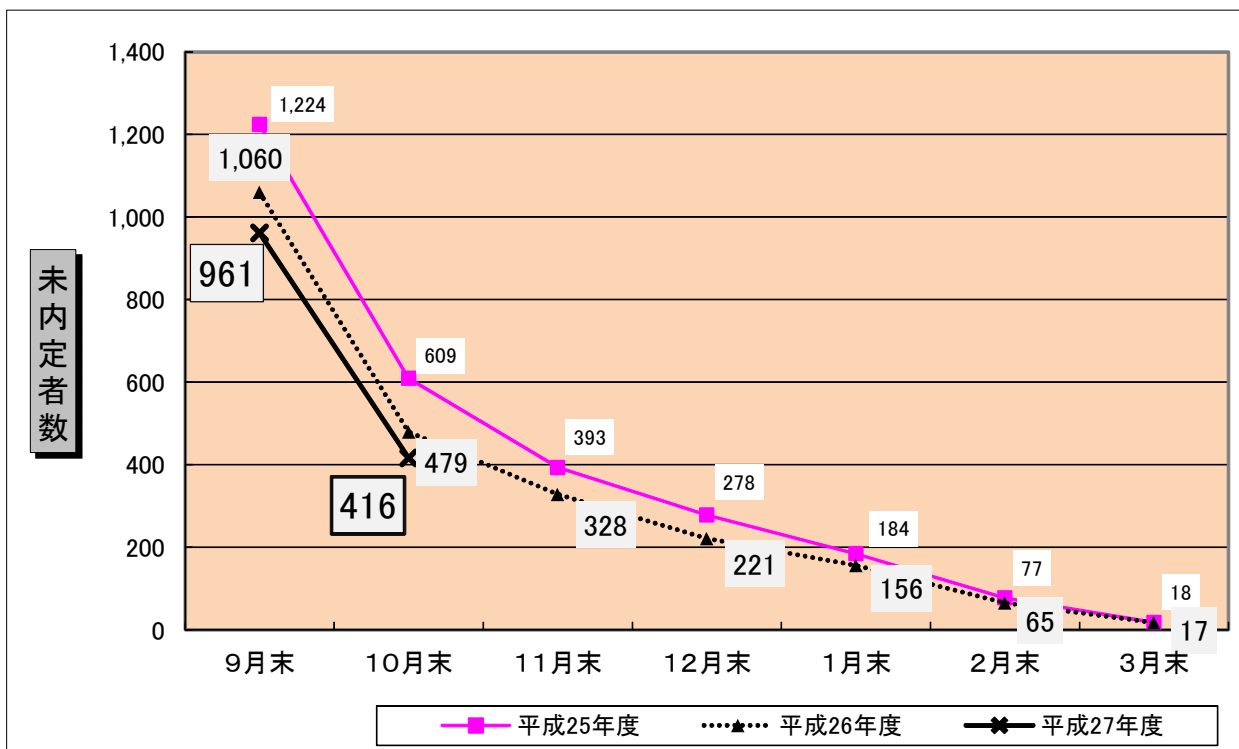


3 未内定の状況 (10月末)

■現状

- ・昨年度に比べ、県全体で63人減少 (479人→416人)
 [内訳] 男子：20人減少 (219人→199人)
 女子：43人減少 (260人→217人)

■未内定者の月別変化 (平成25年度～平成27年度)



4 平成28年3月新規高等学校等卒業予定者への今後の支援

(1) これまでの取組

ア **ガイダンスの充実**

- 生徒・保護者対象就職ガイダンス
- 高校へのキャリアカウンセラー、企業講師の派遣
＜11月末現在実績＞
 - ・若者就職支援センターのキャリアカウンセラーの支援校数等
延べ支援校数：68校 訪問支援回数：98回
 - 延べ支援人数：生徒3, 101人 保護者483人
 - 企業講師紹介回数：9回

イ **求人開拓の強化**

- 求人確保促進月間における文書要請と企業訪問
 - ・文書による求人要請（知事、山口労働局、教育長の連名）
従業員数が概ね30人以上の県内企業2, 419社（訪問手交分含む）
 - ・訪問による求人要請
企業216社、22関係団体（県教委関係の企業訪問22社）
- 各校による企業訪問
- 地区別進路指導連絡協議会を県内7地区で開催
- 商工会議所定例会での求人依頼→徳山、宇部など4商工会議所

ウ **マッチングの促進**

- 高等学校等進路指導連絡協議会の開催
就職支援についての協議（教員、就職サポーター、関係機関等約160名が参加）
- 県内就職促進協議会を県内7地区で開催
企業と学校による情報交換他 参加企業数546社（前年度対比+94社）
- 応募前職場見学の実施
- ふるさと山口企業合同就職説明会の開催

(2) 今後の取組

ア **ガイダンスの充実**

- 高校へのキャリアカウンセラー派遣（若者就職支援センター等）
- 未内定者及び保護者向けリーフレットの配布
- 進路指導担当教員、就職サポーター等による未内定者及び保護者への面談

イ **求人開拓の強化**

- 生徒の希望に応じた求人要請（管理職、進路指導担当教員、就職サポーター等）
- 地区内の未応募求人の共有化
- 未内定者情報に基づく学卒ジョブサポーターと連携した求人開拓
- 山口労働局作成の未充足求人リストの有効活用
- 一般求人の転用による求人開拓

ウ **マッチングの促進**

- チーフ就職サポーターを中心とした広域での情報共有
- 未内定者求職情報一元化（地区内における未内定者情報の共有）
- ハローワークの学卒担当、学卒ジョブサポーターとの連携強化
- 一般求人から高卒求人への転用によるマッチング

5 県立特別支援学校における支援

(1) 高等部卒業予定者の進路希望及び内定状況

平成27年10月末日現在（特別支援教育推進室調べ）（ ）内は昨年度10月末

	希望者数	内定者数	内 定 率	対前年10月末比
進 学	(7) 6	(0) 3	(0 . 0 %) 5 0 . 0 %	50.0ポイント
就 職	(9 0) 8 0	(2 2) 1 7	(2 4 . 4 %) 2 1 . 3 %	-3.1ポイント
福祉施設	(1 7 9) 1 6 2	(4 0) 3 5	(2 2 . 3 %) 2 1 . 6 %	-0.7ポイント
在 宅	(6) 5			

(2) 平成28年3月高等部卒業予定者への支援

《これまでの取組》

ア 企業への実習受け入れ、雇用の要請

- 校長等の企業訪問や県内就職促進協議会への参加による実習先の開拓や雇用要請
 - ・県内就職促進協議会での求人要請等
 - ・企業訪問による求人要請等
- 総合支援学校就職支援コーディネーターによる実習先の開拓や雇用要請（就職サポーター等との連携）
- 各特別支援学校による企業訪問（実習先の開拓や雇用要請）

イ 関係機関との連携による就職支援

- ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター等と連携した企業訪問による、新規実習受入先企業の開拓
- 特別支援学校職業自立・進路指導推進協議会（県教委）、就労促進関係機関連携協議会（特別支援教育センター）、進路懇談会（各学校）等の開催による関係機関との情報交換や役割分担の確認

《今後の取組》

ア 現場実習の継続実施による進路指導

- 就職に向けた企業ニーズや現場実習の評価を活用した指導内容等の改善
- 主体的な進路選択に向けて、生徒の希望や適性と企業ニーズとのマッチングを図ることを目的とした現場実習を適宜取り入れる等進路指導を積極的に実施
 - ・総合支援学校就職支援コーディネーターによる現場実習先の開拓情報を一元化して提供

イ 関係機関との連携強化による就職支援

- ハローワーク、障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター等との連携強化
 - ・ジョブサポーター、ジョブコーチ等の活用
 - ・個別の進路相談やケース会議の早期実施による、情報の共有化の促進と連携協働した就職支援
 - ・障害者職業センターや障害者就業・生活支援センターと現場実習先への合同の巡回支援などによる、在学中から職場定着に向けた移行支援体制の強化
- 労働政策課との連携強化
 - ・新規学卒障害者就業支援事業（特別支援学校早期訓練）の活用
- 未充足求人の活用による、生徒の希望や適性と企業ニーズとのマッチングを促進

報告事項 2

平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

学校安全・体育課

1 調査名

平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

2 調査の概要

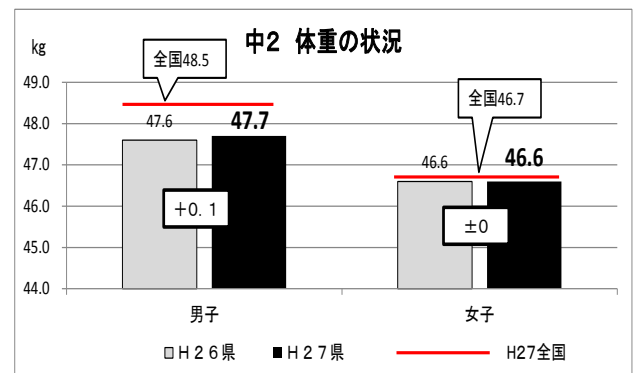
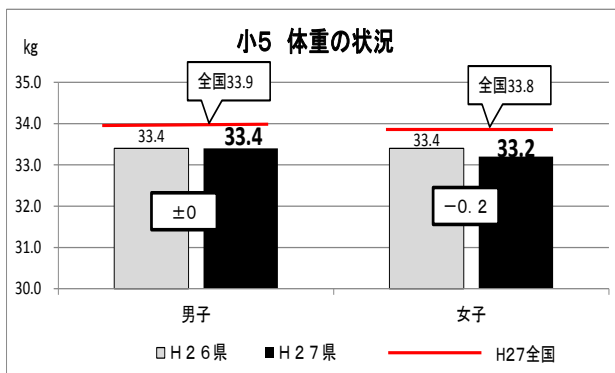
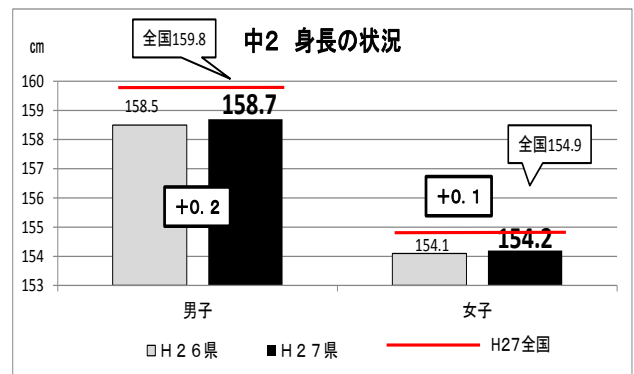
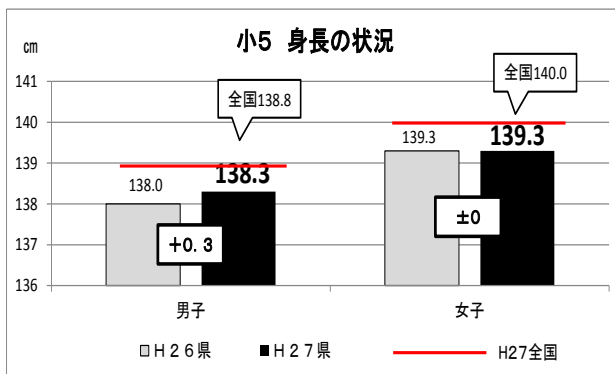
- (1) 調査主体 スポーツ庁
- (2) 調査期間 平成 27 年 4 月～7 月末（学校ごとに期日を設定）
- (3) 調査内容

調査対象	・小学校第 5 学年、特別支援学校小学部第 5 学年 ・中学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年
調査方式	・対象学年の全児童・生徒を対象に全国悉皆調査（H 26 年度も悉皆調査）
調査事項	・実技（8 種目） ・質問紙調査（運動習慣、運動や体育の授業に対する意識 等）

3 調査学校数及び児童・生徒数

校 種	区 分	調査学校数	調査児童・生徒数（人）		
			男子	女子	合計
小学校	山口県	298	5,884	5,602	11,486
	全 国	20,477	545,242	523,356	1,068,598
中学校	山口県	165	6,038	5,772	11,810
	全 国	10,578	543,287	518,694	1,061,981

4 児童・生徒の体格の状況

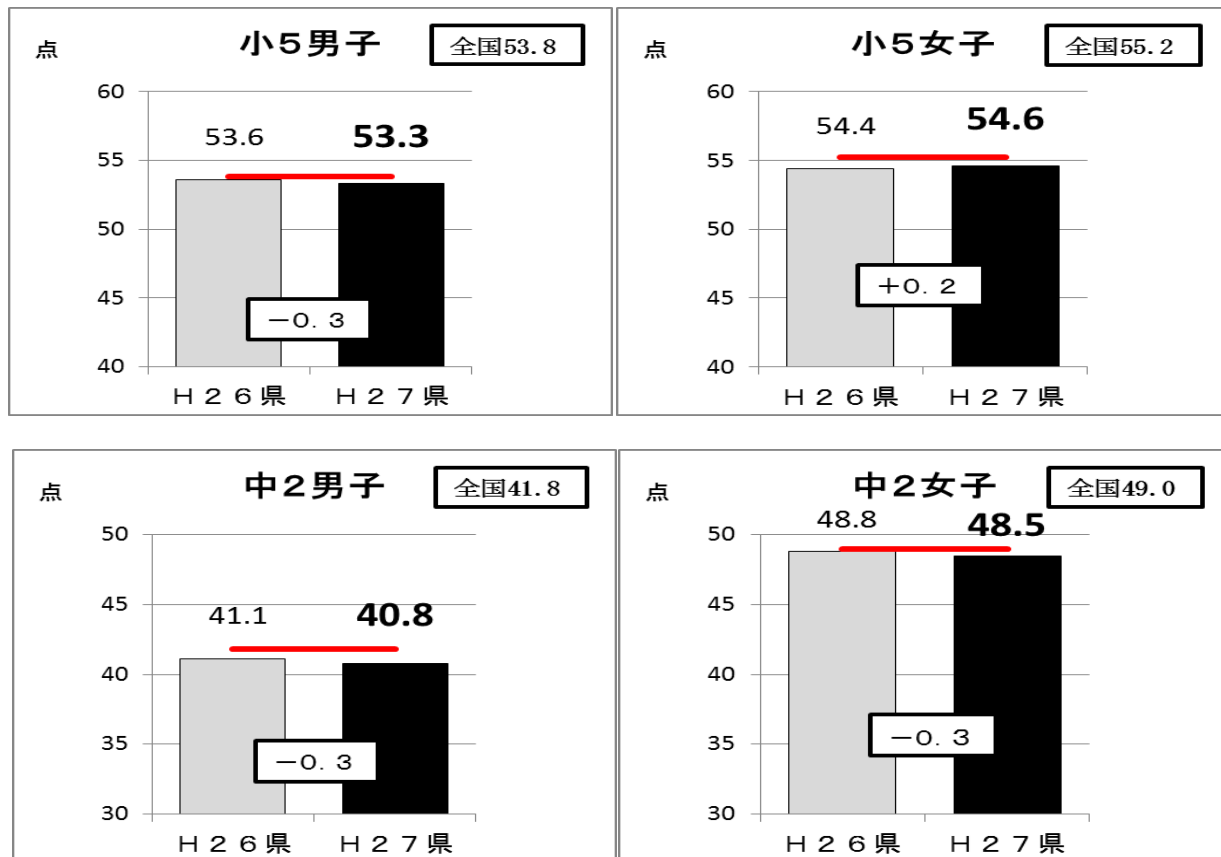


5 児童・生徒の体力の状況

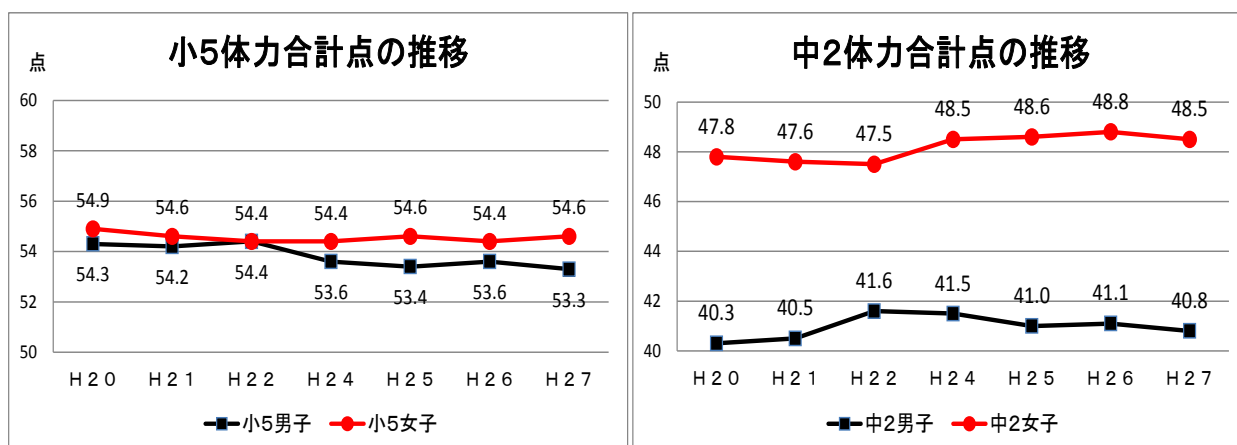
(1) 体力合計点

・全国平均との比較では、すべての調査対象で、全国平均を下回った。

【昨年度及び全国平均との比較】



【体力合計点の推移】

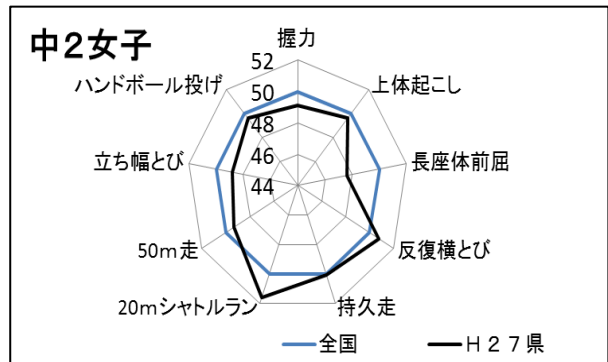
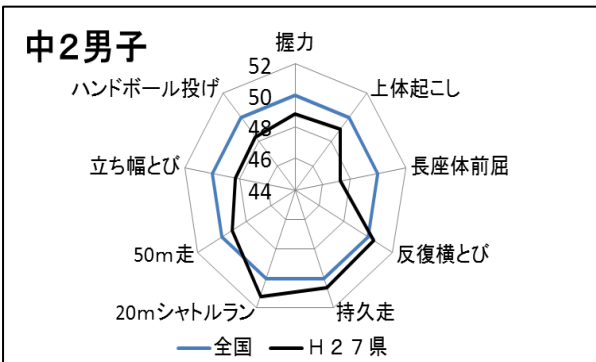
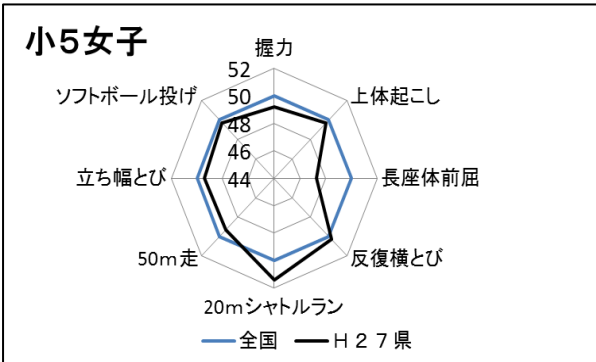
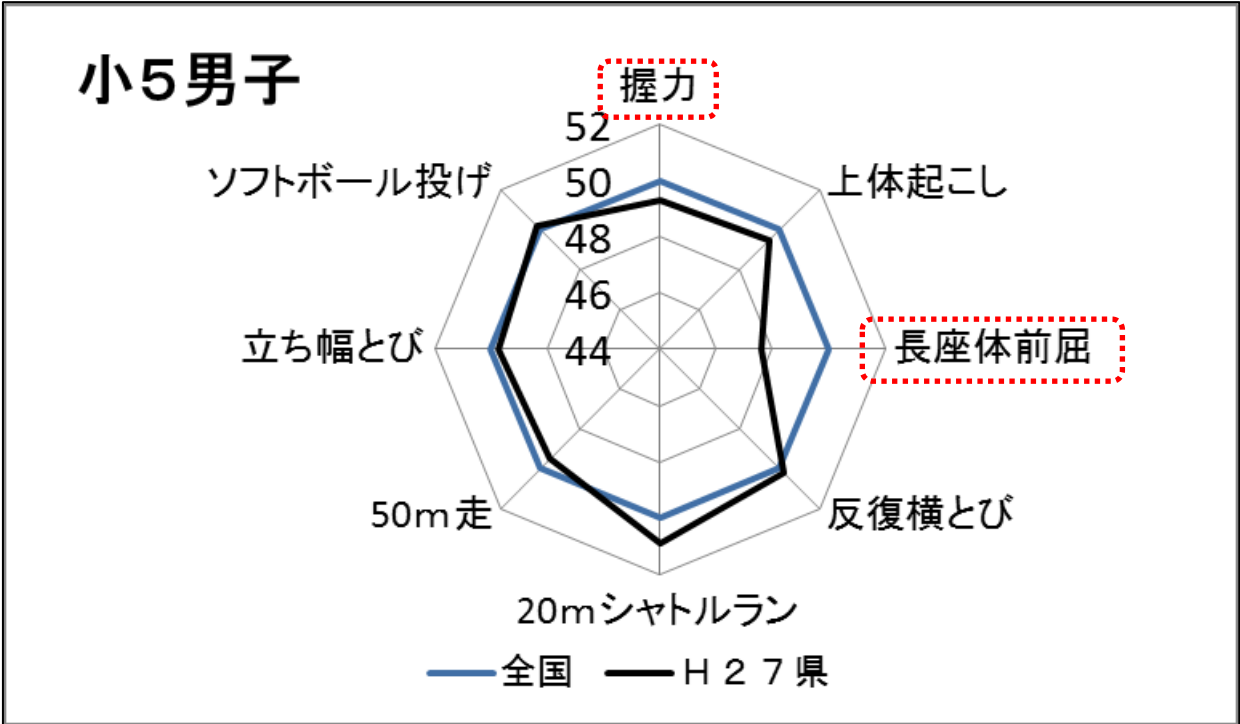


※ H20・21・25・26年度は「悉皆調査」、H22・24年度は「抽出調査」、H23年度は震災のため調査中止

(2) 体力調査各項目の状況

・全国平均と比較して、反復横とびや20mシャトルランの数値は高く、前年度同様、敏捷性や持久力に優れているが、握力、長座体前屈等、筋力や柔軟性に課題がある。

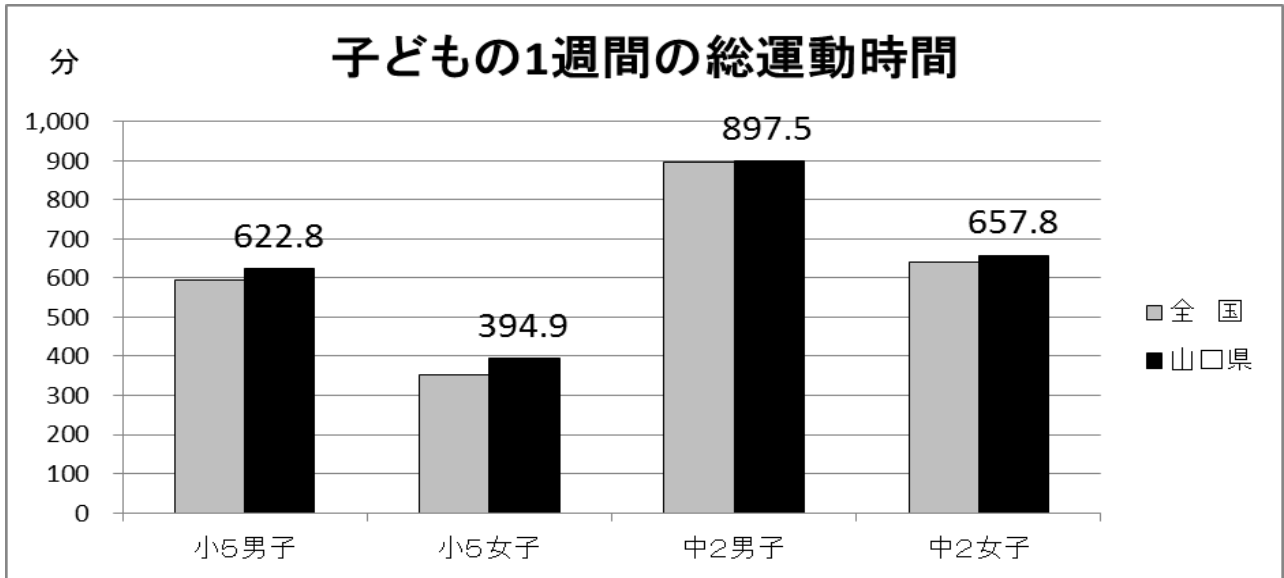
【全国平均を50とした調査項目別の比較】



6 運動習慣等調査の状況

【運動やスポーツの実施時間】（体育の時間以外）

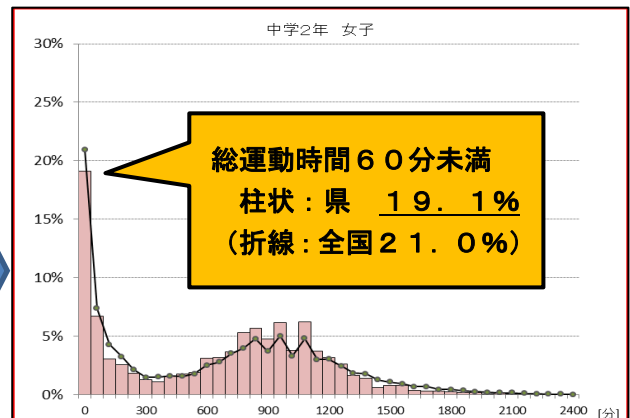
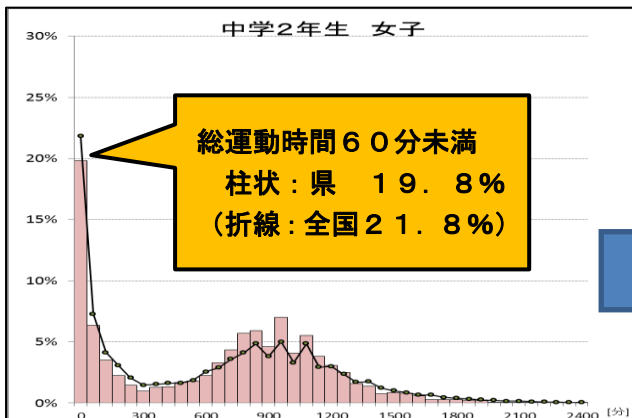
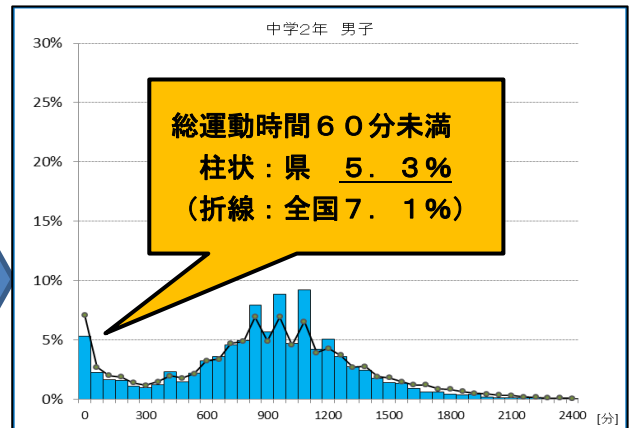
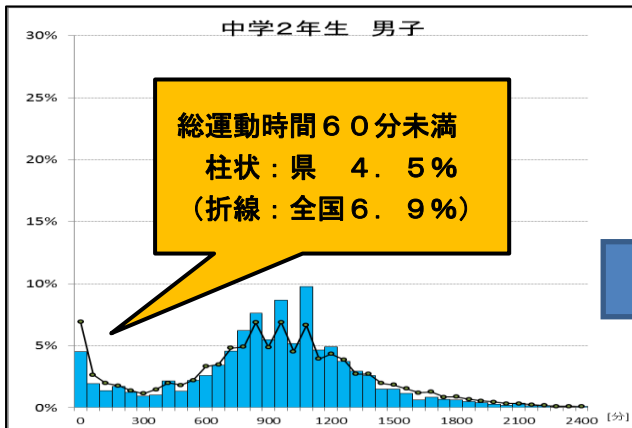
- ・ 全国平均と比較すると、1週間の総運動時間はすべての調査対象で上回っている。
- ・ 全国平均と比較すると、総運動時間が60分未満の生徒の割合は、男女ともに低かった。小学校も同様の傾向である。



【1週間の総運動時間別の児童・生徒の割合】（体育の時間以外）

H26年度

H27年度



7 課題と今後の対応

(課題)

体力の総合的な指標である「体力合計点」は、小5女子を除き、前年度に比べ下がっており、ここ数年やや伸び悩んでいる。これまでの取組により、総運動時間は全国平均を上回っている一方、体力合計点は全国平均を下回っており、より効果的な体力向上に向けた取組が必要である。

(今後の対応)

- 県の共通課題（柔軟性の向上）を踏まえた、全小・中学校における年間を通じた取組の推進
- 各学校の得意な項目をさらに伸ばすための独自の取組の促進

(具体的内容)

- 各校における「体力向上プログラム」の見直し
 - ・共通課題「柔軟性」の改善を目指した年間を通じた取組の徹底
 - ・各校の得意な項目をさらに伸ばす特色ある取組の促進
- 児童生徒の意識の向上
 - ・児童会、生徒会を活用した自主的な取組の促進
 - ・自己の体力の把握と目標の設定
- 運動習慣の継続に向け、学校・家庭・地域が一体となった取組の推進
 - ・地域の人材を活用した休み時間の運動や体育活動の充実

児童・生徒の体格の状況

は全国平均値以上
 はH26を上回る

校種	性別	区分	身長(cm)	体重(kg)	身長・体重のバランスがとれている児童生徒の割合※1
小学5年生	男	H26山口県	138.0	33.4	88.7%
		H27山口県	138.3	33.4	89.1%
		H27全国	138.8	33.9	87.6%
	女	H26山口県	139.3	33.4	90.5%
		H27山口県	139.3	33.2	91.5%
		H27全国	140.0	33.8	89.9%
中学2年生	男	H26山口県	158.5	47.6	91.7%
		H27山口県	158.7	47.7	91.2%
		H27全国	159.8	48.5	90.1%
	女	H26山口県	154.1	46.6	90.3%
		H27山口県	154.2	46.6	90.0%
		H27全国	154.9	46.7	89.5%

※1 バランスのとれた児童・生徒の割合：全体から、肥満傾向及び痩身傾向の児童・生徒の割合を差し引いた割合
 性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を算出し、肥満度が20%以上が肥満傾向児、-20%以下を痩身傾向児とする。
 (「児童・生徒の健康診断マニュアル(改訂版)」(財)日本学校保健会
 算出式：肥満度(%)=[実測体重(kg)-身長別標準体重(kg)]÷身長別標準体重(kg)×100保健会による]

※表のグレーの部分は全国平均値以上、太囲みは平成26年度より向上を示しており、以下の表も全て同じです。

児童・生徒の体力調査各項目の状況

 は全国平均値以上
 はH26を上回る

校種	性別	区分	握	上	長	反	20	持	5	立	ハソ	体
			力	体	座	復	m	久	0	ち	ンフ	
			(kg)	(回)	(cm)	(回)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
小学5年生	男	H26山口県	16.3	19.3	31.2	42.1	54.5	—	9.40	150.6	23.0	53.6
		H27山口県	16.2	19.3	31.1	41.7	53.6	—	9.43	150.7	22.7	53.3
		H27全国	16.5	19.6	33.1	41.6	51.6	—	9.37	151.3	22.5	53.8
	女	H26山口県	15.7	18.1	35.0	39.8	43.8	—	9.67	143.0	13.6	54.4
		H27山口県	15.8	18.3	35.2	39.8	43.0	—	9.68	143.6	13.6	54.6
		H27全国	16.1	18.4	37.5	39.6	40.7	—	9.62	144.8	13.8	55.2
中学2年生	男	H26山口県	28.2	26.7	40.7	52.0	88.6	385.1	8.06	190.6	20.1	41.1
		H27山口県	28.1	26.9	40.2	52.0	88.5	388.7	8.08	189.3	19.8	40.8
		H27全国	28.9	27.4	43.0	51.6	85.3	393.4	8.01	194.1	20.6	41.8
	女	H26山口県	23.3	23.1	42.9	46.5	61.7	285.2	8.84	166.1	12.8	48.8
		H27山口県	23.3	23.0	43.2	46.6	61.3	289.6	8.90	164.3	12.7	48.5
		H27全国	23.7	23.2	45.6	46.1	57.8	290.6	8.84	167.2	12.8	49.0
体力要素	筋力		○	○					○	○	○	
	柔軟性				○							
	敏捷性					○			○			
	持久力			○			○	○				
	調整力					○				○	○	

※持久走は、中学生のみの項目 男子1500m 女子1000m
 ※中学生は「20mシャトルラン」か「持久走」のどちらかを選択して実施
 ※「ソフトボール投げ」は小学生、「ハンドボール投げ」は中学生

協議事項

番号	件名	主管課
1	「高等学校等における主権者教育の推進に向けて」について	高校教育課

主権者教育に係る手引き「高等学校等における主権者教育の推進に向けて」(案)について

1 作成の趣旨

- 18歳選挙権に伴い、主権者教育の一層の充実を図ることが必要



【本県の姿勢】主権者教育を「積極的に」「効果的に」「公正に」推進

2 内容と特徴

第1章 18歳選挙権に対応した主権者教育の推進 ⇒ 「積極的に」

- 本県での今後の方向性を明示
- 4つの視点から学校の教育活動全体を通じて推進

特徴 1

国が作成した副教材等を踏まえつつ、本県で工夫した点

- ① 知識・概念を習得する。
- ② 地域社会に参加する。
- ③ 自分で考え判断する。
- ④ 投票に向けて準備する。

新たな視点として
取り組む。

第2章 主権者教育の効果的な手法、授業実践例 ⇒ 「効果的に」

- 学校が活用しやすい年間指導計画例等を提示

特徴 2

- ・ 学校における主権者教育の年間指導計画例や授業実践例

第3章 主権者教育を進める上での留意点 ⇒ 「公正に」

- 指導上の政治的中立性の確保に関する留意点を明示

国の通知等を分かりやすく、ポイントを明示

- ・ 現実の具体的な政治的事象を取り扱う場合には、教員は個人的な主義主張を述べることは避け、公正かつ中立な立場で生徒を指導
- ・ 現実の具体的な政治的事象を取り扱う場合は、一つの結論を出すことより、結論に至るまでの議論の過程が重要
- ・ 客観的かつ公正な指導資料に基づき指導

第4章 高等学校等の生徒による政治的活動等の取扱い

- 生徒による政治的活動等の取扱いについて解説

- ・ 学校の教育活動内：禁止
- ・ 放課後や休日等に学校の構内：制限又は禁止
- ・ 構外：家庭の理解の下、生徒が判断し行う。

従来どおり

Q & A

- 主権者教育の進め方、生徒による政治的活動等の取扱いに関するQ & A

特徴 3

- ・ 学校の実態に応じた疑問に対応できる蓄積型のQ & A

3 今後の予定

12月中 県立高等学校等に配付

意見交換

番号	件名	主管課
1	教員採用候補者選考試験における志願者確保と実践的指導力を有する教員志願者養成のための取組について（※別冊資料参照）	教職員課